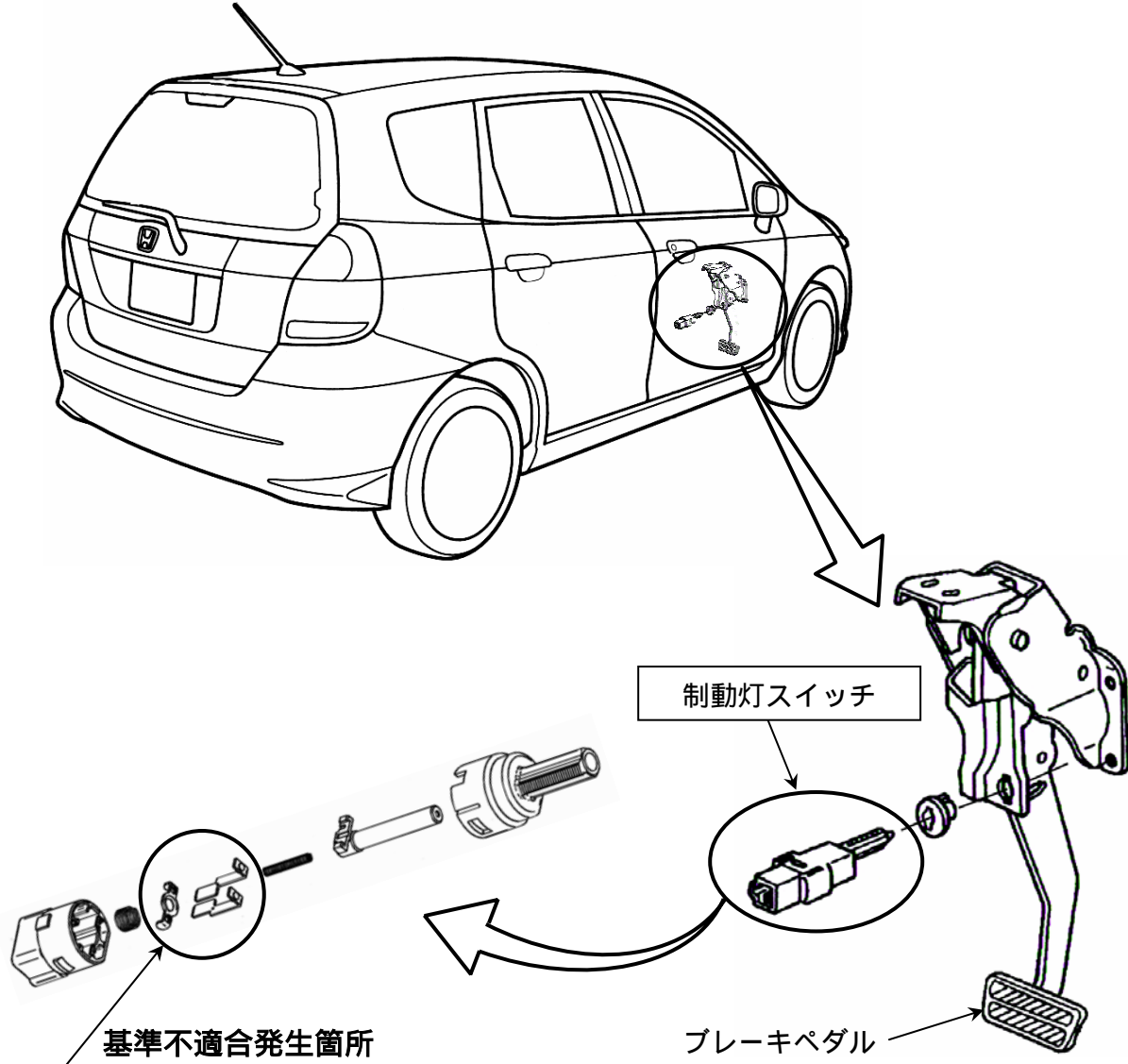




車両製作工程で制動灯スイッチの接点部に不適切な潤滑剤が付着したため、接点の断続の際に発生する熱により潤滑剤成分が酸化し、当該接点部の接触抵抗が増大するものがある。そのため、接点にはたらく電気負荷が小さいと、当該スイッチが導通不良となり、制動灯が点灯しなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、制動灯スイッチを対策品に交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席ドアチェッカー取り付けボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。